

昭和小まなび通信



～ 学校・家庭・地域で はぐくむ昭和の子どもたちの夢・未来 ～
「総合的な学習の時間（前半）」編

H23.9.1

自己の生き方を考えさせるために！

～ 昭和小「総合的な学習の時間」の取組紹介～

地域の自然や人々と関わりながら探究的な学習を行うことによって、主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、学び方やものの考え方を身に付けさせる。こうしたねらいを持って学習を進めています。今年度前半に取り組んだ各学年の「総合的な学習の時間」の取組を紹介します。

4年生「わたしと京都と今日とあした」（郷土）



「福知山踊りを体験しよう！」
踊り振興会の方々の指導のもと、ふるさと文化を体験しました。
さらに、学んだことを幼稚園児に指導するなど、充実した活動になりました。



3年生「ふるさとの自然に親しもう」（環境）

「春の自然に親しもう！」

国蝶で、環境省・レッドデータブックの準絶滅危惧種に指定されているオオムラサキを飼育する校区の大地さん宅を訪れ、間近で観察したりチョウを育てる大地さんの思いを聞きいたりしました。



手のひらにのせ観察する児童たち



6年生「世界に羽ばたく日本人として」（国際理解）



「国際交流インタビューをしよう！」
修学旅行での取組の一つとして、「外国語活動」で身に付けたコミュニケーション能力（英語の表現力）を発揮し、外国人にインタビューする活動を行いました。

5年生「めざせ！仕事人」（進路）

「ようこそ 先輩！」

移動教室の中で、仕事をするための「苦労」や「喜び」について、様々な仕事人（保護者や地域の方々）から話を聞きました。自ら進路を主体的に切り拓く能力や態度につなげていきます。

